

低炭素社会づくりを目指した若者達による 参加・熟議の推進 —低炭素社会構築に関わる 参加・熟議プラットフォームの創設に向けて—

〒160-0015
東京都新宿区大京町31-22
エクレール外苑西202
電話:03-6883-8865
E-mail:office@inst-dep.com
http://inst-dep.com/



つづける助成

1年目

知識の提供・普及啓発



エネルギーワークショップの講義と討議風景

川崎ワークショップ討議 延べ参加者	46人
5大学講義全課程修了者	87人
今年度計画の達成度	50%
活動の全体目標に対する 達成度	50%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

川崎市ワークショップでは、若者を対象としたが若者の応募が少なく、結果的に幅広い年代の参加となった。

■ 工夫した点

大学の講義では、学部の違いや受講者数に応じて、個人の熟議形式の導入やポスター発表の活用など大学別にプログラムを開発した。

課題

参加・対話型手法によるエネルギー教育や長期的な低炭素づくりのための教育の場がほとんどなく、エネルギー問題の本質にまで踏み込んだ議論が市民レベルでなされていない。

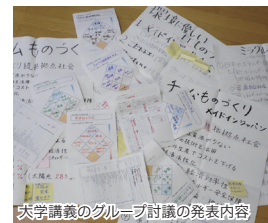
目標

低炭素社会の実現を目指した国民レベルでの議論が活発になり、国民参加による低炭素社会実現への取り組みが加速されることを目標とする。

活動内容と成果

アクト川崎と協働で、2050年の低炭素都市川崎とエネルギー選択を考え、自分たちでどう行動するかなどを考える2日間のワークショップを実施。川崎市の特性を考慮した討議デザイン、シミュレーションモデルを開発。また、北

大、神戸大、金沢大、上智大、愛知学院大において、本ワークショップ方式を用いた講義(1,2単位)の開講を支援。学部の違いや受講者数等を踏まえワークショップを導入。プログラムづくりは、大学教員やNPO、研究者、実務者が協力して作成し、地域社会や大学の講義で実践。



大学講義のグループ討議の発表内容

今後の展望

地域社会でのワークショップは川崎市以外での地域でも実施予定。また大学では5大学に加えて1大学、高等専門学校でも実施予定。可能な限り大学の自発性を高めていく。